

6年生への道「割合」(解説編)

K 先生の奥さん(M)は、「バーゲン」を見かけると必ずお店に入っていきます。「3割引き」とか「70パーセント引き」とか見ると心がおどるそうです。しかし

M「8000円の20パーセントオフか…5000円ね。」

K「(だいたい6500円だけど…)」

M「30000円の30パーセント引きは…パパいくら？」

K「21000円です。」

M「安い!!」

K「(高い気が…)」

「パーセントりんごジュース」とか、「30パーセント引き」などといういいかたを聞いたことがありますか。「何パーセント」というのは、割合を表しています。

100パーセントは割合で「1」にあたります。

割合の「1」が100パーセントだから割合の $\frac{1}{100}$ が1パーセントパーセントになります。

1パーセントを1%と書きます。このように割合をパーセントで表すとき、「百分率」といいます。

問題1 割合を百分率になおしましょう。()に当てはまる数を書きましょう。

割合 ⇔ 百分率

(1) 0.01 ⇔ () %

(2) 0.03 ⇔ () %

(3) 0.1 ⇔ () %

(4) 0.25 ⇔ () %

(5) 0.5 ⇔ () %

(6) 0.99 ⇔ () %

(7) 1 ⇔ () %

回答 (1) 1 (2) 3 (3) 10 (4) 25 (5) 50

(6) 99 (7) 100

問題2

2000円のシャツを30%引きにするといくらになるでしょう。

式

答え _____

考え方

30%引きというのは、もとの値段を100%としたとき、そのうちの30%を引くということです。

はじめの値段 100% ⇔ 2000円	
値引きしたあとの値段 70%	値引きした分 30%

30%は小数で表すと0.3です。

比べられる量 = もとにする量 × 割合

2000円に0.3をかけた金額が値引き分です。

① $2000 \times 0.3 = 600$

値引きしたあとの金額は、ひき算で求めます。

② $2000 - 600 = 1400$

③ ①と②をまとめると

$$2000 \times (1 - 0.3) = 2000 \times 0.7 = 1400$$

答え 1400円

☆いきなり 2000×0.7 や $2000 - 600$ など書くのは正しくありません。算数は基本問題文の中にある数字を使います。「0.7」や「600」が分かるように式に表しましょう。

問題3

問題2のように①②③の順に式を立てて解いてみましょう。

5000円のセーターを25%引きにすると、いくらになるでしょう。

式①

式②

式③

答え

考え方

式① $5000 \times 0.25 = 1250$

式② $5000 - 1250 = 3750$

式③ $5000 \times (1 - 0.25) = 5000 \times 0.75 = 3750$

答え 3750円

これでバーゲンセールも怖くない！